

福島イノベーション・コースト構想 重点分野等事業化促進事業(伴走支援)について

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 産業連携支援課

TEL:024-581-6890

E-mail:sangyo-renkei@fipo.or.jp

◆福島イノベ機構とは

- 福島県が2017年に設立
- 福島イノベーション・コースト構想の中核的な推進組織という位置づけ
- 構想の実現に向け、幅広い分野をカバー
 - ① 産業集積・ビジネスマッチング
 - ② 教育・人材育成
 - ③ 交流人口の拡大
 - ④ 拠点施設(RTF等)の管理運営
 - ⑤ 情報発信(Hama Tech Channel等)



福島ロボットテストフィールド



東日本大震災・原子力災害伝承館

◆福島イノベ機構と地域復興実用化開発促進事業（イノベ補助金）の関係

地域復興実用化開発等
促進事業費補助金
(イノベ実用化補助金)

事業化のお手伝い

事業化に向けた支援



(1) 概 要

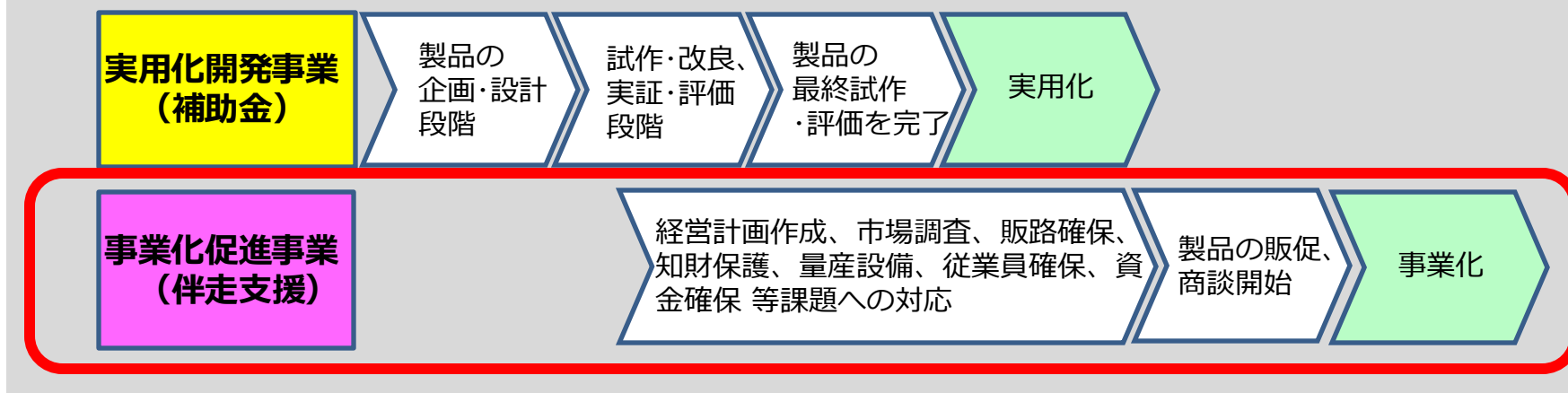
イノベ実用化補助金の採択を受けて実用化に取り組む企業等（過去に採択を受けた企業等を含む）が、**事業化（開発製品・商品の販売）に向けた**各種課題の解決に関する支援を実施し、早期の達成を目指します。

(2) 福島県の「イノベ実用化補助金（補助金）」とイノベ機構の「イノベ事業化促進事業（伴走支援）」の違い

「イノベ実用化補助金」では、各企業等に製品開発、部品や要素技術の研究開発を行ってもらい、**製品の試作・評価完了した段階 = 『実用化』**させることが主な目標。

「イノベ事業化促進事業」では、『実用化』後の実際の**販売活動等展開を行う段階（商談開始） = 『事業化』**に移行してもらうことを主な目標として、支援するところです。

◆参考（イメージ）



市場調査

- ・市場規模調査
- ・自社製品の特性分析
- ・競合他社製品調査
- ・知財戦略支援 等



事業計画等の作成支援

- ・収支計画
- ・販売戦略
- ・投資計画
- ・ビジネスモデル 等



地域復興実用化 開発に取り組む 事業者様を支援

イノベ機構が、事業者様の課題を整理のうえ、各種支援を実施します。

個別マッチング

- ・部材調達先の紹介
- ・金融機関の紹介
- ・技術提携先の紹介 等



一括支援

- ・支援制度説明会の開催
- ・首都圏でのピッチイベント開催 等



今年度の支援メニューの概要は以下となります。

事業化促進支援

事業連携先：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

支援先企業の全般的な課題把握、経営戦略や市場戦略の策定支援や戦略の実行支援など

財務戦略支援

事業連携先：とうほう地域総合研究所

資金調達に係る金融機関／VCとの引き合わせや、その前後での助言など

マッチング支援

事業連携先：未定

企業やバイヤーを招致し、商談のフォローアップを支援

知財戦略支援

事業連携先：デロイトトーマツ弁理士法人

知財戦略に関する助言、先行技術調査や特許性調査、特許出願など

ネットワーキング支援

- ・自治体等との引き合わせ
- ・部材調達支援

マーケティング／プロモーション支援

- ・デブスインタビュー
- ・プレスリリース支援
- ・合同メディア発表会
- ・展示会出展支援（ブースの提供）

人材確保支援

- ・関係機関（移住相談窓口等）への紹介
- ・学生との交流機会の創出

その他支援

- ・各種補助金情報等の提供（メルマガ）

■ 事業化促進支援

- コンサルティングファームと連携しながら、「イノベ実用化補助金」に採択されたテーマを対象に、訪問・オンライン等でヒアリングを行い、各事業者が抱えている課題解決のための支援を実施。

- 市場調査、技術面での課題解決や販路開拓に向けたマッチング、販売戦略の策定、資金調達に向けたアドバイスなど、課題に応じて、具体的な支援を実施。

訪問等 延べ229回
(2024年度)

事業化に至った事例 10件
(累計129件) (2024年度末)



■ 知財戦略支援

- 事業化支援により、知財課題等を把握した22社(2024年度)を対象に、INPIT/弁理士による専門的支援を実施。

<主な支援内容>

- ✓ 現状分析レポートの作成
- ✓ 先行技術調査、先行文献調査、特許性調査
- ✓ 特許出願（代理人業務）
- ✓ 商標調査
- ✓ 商標出願（代理人業務）
- ✓ 意匠出願（代理人業務）

区分	出願		査定	
	FY24	累計	FY24	累計
特許	10件	46件	6件	22件
商標	9件	28件	5件	19件
意匠	0件	1件	0件	1件

■ マッチング支援/マーケティング支援

- 実用化が完了し事業化（＝商談を開始）したものの、新たな販売先の開拓につがっていない課題へ対応するため、販売実績向上に向けた支援を実施。

<支援メニュー>

- 首都圏商談会出展への支援
- 大企業等の顧客候補のマッチング
- 有識者インタビューの実施
- プレスリリース支援



■ 機構主催によるピッチイベントの開催（2024年度）

- 大企業との協業・連携、金融機関・VC・CVCからの資金調達に向けたマッチング、ネットワーキングを促進することを目的として、都内で初めて機構が主催するピッチイベントを開催。

Fukushima Innovation Coast – Deep Tech Challenge – ～マイナスからの“挑戦”、だからこそ“本気”～

開催概要

- (1)日 時 2024年12月9日(月) 16:00～20:00
- (2)場 所 Tokyo Innovation Base（東京都有楽町）
- (3)参加者 約80名
(協業・連携を検討する大企業、VC、CVCなど)

登壇・ブース出展企業

Zip Infrastructure株式会社
株式会社ROMS
株式会社チャレナジー
株式会社リジエンワークス
AstroX株式会社
株式会社イノフィス
テトラ・アビエーション株式会社（ブース出展のみ）



■ 企業間のマッチング機会の設定

- 浜通り地域を含む、県内全域への経済効果の更なる波及に向けて、地元企業と実用化補助金採択企業とのマッチング支援を実施。
- 2018～2024年度の累計で、343件の企業間マッチング・48件の取引成立をイノベーション機構の仲介により実現。
- 研究開発後の量産に向けて、製造委託先（候補）の紹介なども実施。

<ビジネスマッチングの事例（2024年度）>

進出企業	地元企業	目的・内容
水素燃料電池開発企業	電子部品製造企業等2社	水素製造装置について聞き取り
耐放射線カメラ開発企業	カメラレンズ製造企業6社	耐放射線カメラレンズの設計・組立
アシストスーツ開発企業	縫製関係企業2社	試作品開発協力の相談
筋組成測定機器開発企業	ロボット開発企業1社	試作品開発協力の相談

■ 報道機関を対象とした合同メディア発表会の開催

- 単独企業では報道機関に取り上げられにくい、または取り上げられたとしても露出が少ないケースがある
- イノベ機構が報道機関各社に声掛けをし、合同で発表する機会を年3回設定
- 昨年度は首都圏でも開催し、今年度も計画中



首都圏合同メディア発表会場の様子（2025.1.21）

■ 学生との交流機会の創出

- 福島県内や近隣地域の大学生等がイノベ企業に関心を持ち、将来の選択肢の1つとして浜通り地域への就職を考える機会を提供
- 今年度は、交流会を9月に開催予定

<昨年度の実績>

- 第1回：会津大学9名／福島大学3名
- 第2回：福島高専24名／日本大学1名／他1名



支援制度の詳細につきましては、**7月17日（木）に開催する「支援制度説明会」**においてご説明いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

今年度は、採択企業の皆様にもご参加いただきやすい、大熊町での現地開催となります。

また、**資金調達関係、知的財産関係の個別相談ブースを設置**します。お気軽にご参加ください！

●開催概要

・日時：**2024年7月17日(木) 13:30～15:30**

・場所：**CREVAおおくま（大熊町）** ※現地開催のみ

・当日の内容：

①**各種支援メニューのご紹介**

②**他支援機関の事業紹介**

（県ハイテクプラザ、エネルギー・エージェンシーふくしま、ふくしま医療機器開支援センター、ジェトロ福島）

③**個別相談ブース（資金調達・融資・財務関係、知的財産関係）**

●参加申し込み

別途、詳細のご案内をメールでお知らせいたします。

この後は、福島イノベ機構において実施している、
「教育・人材育成」、「交流人口拡大」、「情報発信」
の各事業のご紹介をいたします。

今後、これらの事業へのご協力をお願いする場合がありますので、
その際はよろしくお願いいたします。

また、最後に説明する移住支援事業については、
人材採用にも関連しますので、詳細を確認したい場合はご連絡ください。

- **工業高校生及び県内大学生等を対象**に地元企業・研究機関等と連携した取組を支援し、イノベ構想への関心を喚起する人材育成と**地元就職を促進する人材確保**を目指す。

【対 象 校】

県内工業高校10校、テクノアカデミー3校、福島工業高等専門学校、福島大学、会津大学、日本大学工学部

【対象企業】

イノベ構想地区の企業等、中通り地区の重点6分野関連企業

【2024年度の事業内容と実績】

内容		実施件数
人材育成 イノベ構想を担う人材を育成 人材確保 イノベ構想に関連する地元企業への就職に結びつける	出前授業（企業や大学教員等によるイノベ関連の授業）	47
	企業見学会（就職を目的としたイノベ関連企業の見学）	49
	企業紹介セミナー（イノベ関連企業を参集した説明会）	3
	保護者向け企業紹介セミナー（保護者の地元企業への理解を深める説明会）	3
	保護者向け企業見学会（保護者の地元企業への理解を深める見学）	1
実績総数（人材育成＋人材確保）		103件（延4,345名）

●生徒の声（一部抜粋）

- ・ 求人票だけではわからないことをいろいろ知ることができた。
- ・ ものを作るということのすばらしさを知ることができた。
- ・ 具体的に内容が分かり、触れることで未来の自分を想像できた。
- ・ 今までは名前だけを知っているくらいだったが、見学を通して中身を深く知ることができた。
- ・ 企業理念などを知って就職したいと思った。
- ・ 自分の地元の企業で世界的に活躍していることを知ることができた。

- 福島県の未来を牽引する若者たちに対して、福島イノベーション・コースト構想に関わる有識者を招聘する出前講座。
- **福島県内の小中学校、高校、大学や特別支援学校等を対象に実施。**
- 「イノベ構想の周知」に留まらず、先進的な技術等を「学ぶ機会」を提供する。
- 各校の探求学習の一助となる機会の提供。

【事例・感想等（2024年度）】

■ 小学校

12月13日 会津美里町立新鶴小学校

対象：6年生 26名

分野：ロボット・ドローン（プログラミング操作体験）



● 児童より

- ・みんなと協力して、プログラミングができてとても良かった。ロボットが動いたときは、とてもびっくりした。
- ・プログラムの楽しさを知ることができた。
- ・凄くワクワクする授業で、楽しみながらプログラミングについて学べた。

■ 中学校

6月26日 大玉村立大玉中学校

対象：1年生 26名

分野：エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、科学、ロボット・ドローン

（1日を探究の日として4分野実施）



● 生徒より

- ・地球温暖化をくい止めるために、福島県が色々な取組を進めていることを知る良い機会になった。
- ・理科を学ぶ大切さを知った。
- ・福島を中心に世の中を活性化させるなんて考えたこともなかったから、すごくいい発想だと思ったし、自分も関わってみたいと思った。

■ 高等学校

12月10日 福島県立郡山高等学校

対象：1年生、2年生（希望者）等 約300名

分野：医療

（脳波を可視化、近未来テクノロジーに係る講座）



● 生徒より

- ・色々な分野が繋がって先生の研究が成り立っていることを知り、理系・文系にこだわりすぎず幅広い視点を持つことの大切さを感じ、研究分野への理解が深まった。
- ・授業ではあまり触れることのない近未来という題材について学び、将来の自分の職業について考える良い機会になった。

- 福島イノベ構想の担い手として期待する大学生を対象に出前講義等を実施。

<イノベ地域への興味・関心を引き出す出前講義の実施>

大学生等を対象に、イノベ構想やその取組について、様々な大学等と連携し出前講義を実施。大学等の要望に応じた福島イノベ構想と関わりのある企業やまちづくりで活躍する方の話を通して、イノベ地域について、もっと知りたい・行ってみたいという興味・関心を引き出します。

【2024年度 出前講義実績】

獨協大学、東北大学公共政策大学院、芝浦工業大学、会津大学ほか計15校実施
出前講義等を通じて10名以上の学生が、まちづくりについて学びたいなどの理由からイノベ地域へ訪問。



<継続的な情報発信>

2024年7月から公式LINEアカウント「ふくしまイノベゼミ」を開設し、出前講義等でイノベ地域へ興味・関心を抱いた学生を対象に、イノベ構想関連企業やイノベ地域に関するイベントなどの情報を週1回程度で発信。

(参考) 交流人口の拡大 地域住民向けセミナーの実施

■ みんなで学ぼう！福島イノベ構想ってなあに？

(富岡町) 2024年10月19日(土) 於：富岡町文化交流センター「学びの森」 参加者数 11組 30名 (子供17 保護者13)
アンケート結果：参加者満足度 100% **身近に感じる割合 参加前31%⇒参加後100%**
参加者の声：「イノベーションって何だろうと思っていたので参加でしたが地元企業社や移住され地元産業を栄えることに頑張っている企業を知り感激しました。また、体験させて頂くことで子供が持つ可能性や未来性を広げて頂くことができました。」

(白河市) 2024年12月21日(土) 於：白河市産業プラザ人材育成センター 参加者数 53組 147名 (子供80 保護者67)
アンケート結果：参加者満足度 100% **身近に感じる割合 参加前18%⇒参加後92%**
参加者の声：「名前が難しく身近に感じられませんでした。お話を聞いて実際に体験し知ったことで、関心も湧き応援したいと思えました。子供も楽しく体験でき良かったです。」

(いわき市) 2025年1月26日(日) 於：イオンモールいわき小名浜

◆イノベ構想関連企業による取組発表 (参加者109人)

株式会社東日本計算センター/ タグル株式会社/ 環境微生物研究所株式会社/ サイトセンシング株式会社

◆ブース・ポスター展示 (参加者131人)

福島国際研究教育機構/ 福島県立小名浜海星高校/ トラスト企画株式会社/ 福島イノベーション・コースト構想推進機構

◆ワークショップ (参加者67人) 株式会社リビングロボット

◆オンライン視聴 (参加者15人)



- 当機構ウェブメディア「**Hama Tech Channel (ハマテックチャンネル)**」にて、浜通り地域等を先導するリーダーたちに、構想に掛ける自身の思いや役割、福島発のイノベーションにどのように貢献していくのか等、ユーザー（ビジネスパーソン）の指針となる記事を掲載。



2024年度
掲載記事

カテゴリ	インタビュー対象者	プロフィール等
トピックス	機構コラム	1/21メディア発表会登壇企業5社（イームズロボティクス、テトラ・アビエーション、人機一体、リビングロボット、クフウシヤ）
トピックス	機構コラム	事例紹介：環境微生物研究所、常磐興産グループ
トピックス	機構コラム	事例紹介：e6s、福島三技協
トピックス	機構コラム	事例紹介：人機一体、福島三技協、e6s、AstroX、大熊ダイヤモンドデバイス
未来テクノロジー	須田信也 氏	WorldLink & Company 代表取締役
サステナビリティ	沖村智 氏 椎名弘直 氏	トレ食 代表取締役 トラスト企画 代表取締役
未来テクノロジー	小林稜平 氏	ElevationSpace 代表取締役
トピックス	佐藤法仁 氏、他	シンポジウム 基調講演及び事例発表者
未来テクノロジー	金岡博士	人機一体 代表取締役社長
ウェルビーイング	高波正充 氏	e6s 代表取締役
未来テクノロジー	松尾久人 氏	AIBOD
未来テクノロジー	平山貴浩 氏	日本遮蔽技研
未来テクノロジー	遠藤洋道 氏	タグル



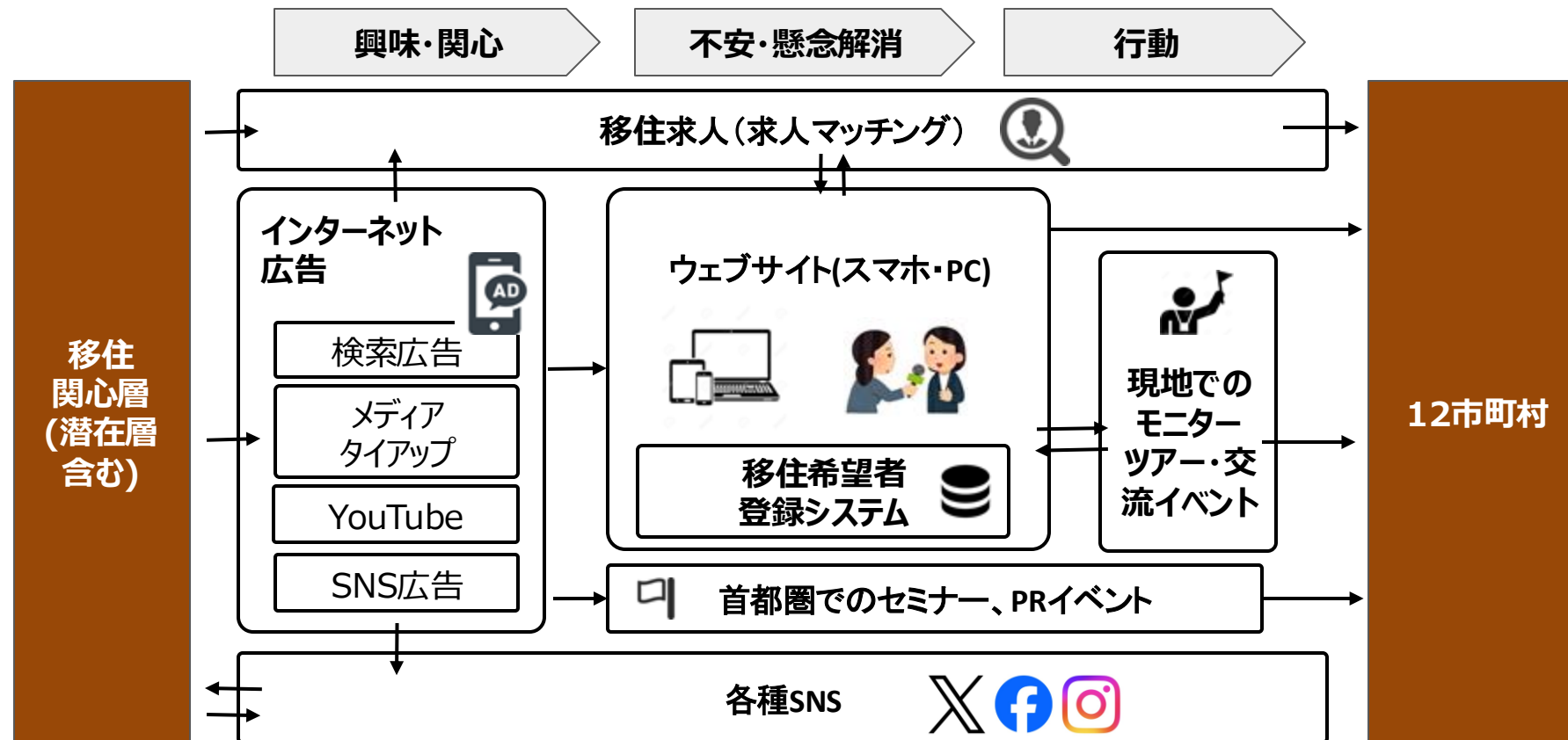
須田信也氏（WorldLink & Company）
インタビュー（2025.2.19記事掲載）



沖村智氏、椎名弘直氏（トレ食、トラスト企画）
インタビュー（2025.2.14記事掲載）

- 12市町村への移住推進に向け、ウェブサイトでの求人マッチングを実施
- 首都圏セミナーや現地モニターツアーなども開催
- 具体的な移住イメージを高め、現地にある企業の様々な求人情報を提供することで、移住につながるアクションへと繋げる。

#未来
#ワーク
#ふくしま



※12市町村：イノベ地域15市町村のうち、相馬市、いわき市、新地町を除く

※12市町村と連携・協働した各取組の実行においては、市町村支援課がコーディネート。

#未来
#ワーク
#ふくしま

ウェブサイト 訪問者数	メルマガ 登録者数	求人案件 発掘社数	移住求人 エントリー数
累計 381.4 万人	累計 5,018 人	累計 346 社	累計 5,840 名
モニターツアー申込数	移住セミナー 参加者数	12市町村への移住者数 (福島県が毎年6月頃に公表)	
累計 3,082 名	累計 1,301 名	2023年度	637世帯 839人
		2022年度	425世帯 601人
		2021年度	326世帯 436人
		2020年度	155世帯 213人
		2019年度	115世帯 152人

太文字数字はいずれも2021年7月のセンター設置から
2025年3月末までの累計実績値

2024年度のウェブサイト閲覧は3月末時点で234.1万ページビュー、116.1万ユニークユーザーを達成。
インターネット広告の制作や、YouTuber・俳優とのコラボ動画を制作・配信。

未来
ワーク
ふくしま



「未来ワークふくしま」TOPページPC版

<https://mirai-work.life>



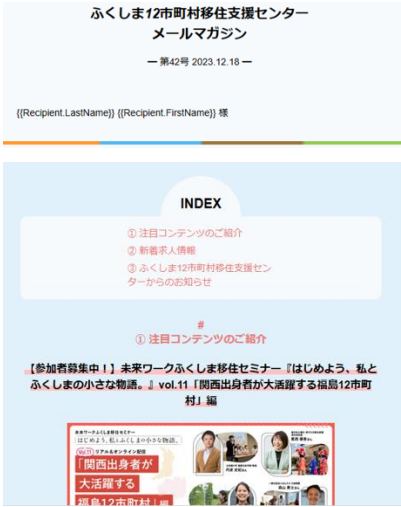
メルマガを月2回配信



杉浦太陽さんを起用した広告動画



人気YouTuberとのコラボ動画





<お問い合わせ先>

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 産業連携支援課

〒960-8043 福島県福島市中町1-19 中町ビル6階

TEL : 024-581-6890 FAX : 024-581-6898

Mail : sangyo-renkei@fipo.or.jp

H P : <https://www.fipo.or.jp>